



2025年5月14日

各 位

会 社 名 東邦アセチレン株式会社
(コード番号 4093 東証プライム)
代表者名 代表取締役社長 堀内 秀敏
問合せ先 取締役常務執行役員
管理本部長 佐古 慶治
(TEL. 022-385-7692)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社は、本日開催の取締役会において自社の資本コストや資本収益性の現状を評価・分析し、改善に向けた方針や具体的な取り組みを決議しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 現状分析

	単位	2022年 3月期	2023年 3月期	2024年 3月期	2025年 3月期
売上高	百万円	31,285	34,087	35,423	34,804
経常利益	百万円	1,354	1,684	2,441	2,170
親会社株主に帰属する 当期純利益	百万円	823	988	1,415	1,287
ROE	%	5.30	6.12	8.33	7.19
PBR	倍	0.51	0.57	0.79	0.68
PER	倍	9.82	9.52	9.77	9.72
期末株価	円	233	271	398	360

当社はROEを経営の重要な指標の一つと定め、ROEが株主資本コストを上回る経営を推進しております。2025年3月期のROEは7.19%と当社が認識する株主資本コスト6.0%程度を上回っておりますが、中期経営計画の目標値8.0%を下回る結果となりました。これは、多賀城工場における大規模定期修理の実施、物流単価の上昇等の費用が増加し、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益が減少したことが要因です。

また、PBRは0.68倍と1.0倍を下回る結果となりました。これは、ROEの低下に加え、株式市場における当社の企業価値・成長戦略が市場に浸透していないことが主な要因であり、更なる成長戦略の立案と収益力の向上およびIR活動の充実が重要であると認識しております。

2. 対応方針

ROE8.0%以上の達成を目指してまいります。

3. 施策

上記の目標を達成するため、以下の施策を実施してまいります。

(1) 成長戦略の推進による収益の極大化

2024年に投資決定した「エスプーマ専用・食品ガスの充填工場新設」および「水素発生装置の導入」によりガス供給能力が大幅に増強されます。販売戦略の更なる推進、需要創出により収益の極大化に努めてまいります。

また、持続的な成長には設備投資や研究開発の促進、人的資本への投資も重要であり、獲得した収益を効率的かつ戦略的に再投資することで、資本収益性を高め、更なる企業価値の向上を目指してまいります。

(2) 株主還元施策

2025年度を最終年とする中期経営計画の期間中、50円以上の累進配当政策の実施を掲げており、2024年度は年間配当金70円相当となります。配当性向に関しましては、具体的な数値目標を掲げてはおりませんが、設備投資計画などを勘案しつつ、可能な限り株主還元の充実に努めてまいります。

(配当金については、株式分割前の金額となります。なお、株式分割を考慮した2024年度の年間配当金は14円となります。)

(3) IR活動の強化、資本市場との対話の充実

経営陣によるマスコミ・投資家との対話の推進、機関投資家向け会社説明会の実施、アナリスト・投資家向けの個別取材の積極対応、各種メディアやウェブサイトを通じた積極的な情報発信、統合報告書「東邦アセチレンレポート」の内容拡充等、広報・IR活動の充実を図り、市場における当社認知度の向上を図ると共に中長期的に当社グループをご支援頂ける投資家との関係を一層強化してまいります。

以上の取組を通じて、目標値であるROE8.0%以上の達成を目指してまいります。

以上